

## 会 議 録

件 名	令和元年度 第2回 久留米市男女平等推進センター運営委員会	
日 時	令和元年12月16日(月) 19:00～21:00	
場 所	男女平等推進センター210・211 研修室	
出席者	委員	小坪委員、黒木委員、樋口委員、緒方委員、佐藤委員、宮里委員、末崎委員、馬場委員、矢ヶ部委員、伊崎委員、守屋委員、堀田委員、角委員、中島委員
	事務局	酒井所長・鐘ヶ江主査・大石主査・田中(男女平等推進センター)重石部長(男女平等推進担当部長)、竹村(男女平等推進担当次長兼男女平等政策課長)、佐々木(男女平等政策課課長)
欠 席 委 員	西田委員	
傍 聴 者	2名	
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>■第10期 久留米市男女平等推進センター運営委員会 委員名簿</li> <li>■令和元年度事業実施概要</li> <li>■令和元年度施設利用状況</li> <li>■講座チラシ</li> <li>■ジャーナル vol.63</li> </ul>	
<b>議 事 内 容</b>		
<p>1. 男女平等推進センター所長あいさつ</p> <p>2. 新任委員の紹介、委員出席の確認及び会議成立の報告</p> <p>3. 議題  令和元年度運営状況について  (1) 施設の利用状況(事務局説明)  (2) 事業実施状況(事務局説明)  説明後に【質疑応答】</p> <p>4. その他</p>		

## 議 事 内 容

### 【質疑応答】

#### 3. (1) 施設の利用状況

- (委 員) 相談は様々な年代が利用しているが、主催講座の参加者の男女別、年代別の傾向は。
- (事務局) 参加者は女性が多く、高齢者が多い傾向はある。基礎講座はあらゆる世代に来ていただきたいと考え様々なテーマで行っている。子育てをテーマとした講座や次世代男女共同参画事業などは若い世代の参加で交流もあった。一方で政策参画講座やまちづくり参画講座は50代以上の参加が多かった。
- (委 員) 図書情報ステーションの貸出冊数・日数の増の検討は可能か。団体貸出はできるか。若者層の増のためにはヤング本・絵本等を増やすのはどうか。利用状況分析などにシステム上の統計は出せるのか。
- (事務局) 冊数・日数の増は中央図書館のルールを準用しており検討は難しい。また、データの抽出・分析は、システム上難しいと聞いている。団体貸出は実施していない。絵本コーナーはリニューアルし子連れでの利用の環境充実を図った。子供向けの絵本コーナーを目立つよう工夫したい。今後も各年層に向けた充実を図っていききたい。
- (委 員) DV・性暴力の相談について相談の予約が難しいといった状況はあるか。相談が属人化していないか。
- (事務局) 面談・電話について5人の相談員で対応しており、予約が取れないという状況は回避している。相談内容は記録を取り、次に誰が受けても対応できるよう、本人の了承を得て相談員内で情報共有している。
- (委 員) 能力開発室の利用状況は。
- (事務局) PC基礎講座、日商3級講座や他機関との共催で活用している。
- (委 員) 図書情報ステーションの利用者数の状況は。利用時間短縮で図書職員の勤務状況は改善されたか。
- (事務局) 利用者数は減少しているが、夜間短縮の影響はさほどないと考える。減の理由として、上映会、ブックタイムの開催回数の減少、新聞配架の中止等があるが、貸出冊数・利用者数はそこまで減ではない。図書職員の勤務状態は昨年に比べ改善できたので、講座企画等にも力をいれていく。
- (委 員) 図書情報ステーションの情報提供が必要なのでは。進路・成長などの課題に利用できる。働きかけの工夫を。
- (事務局) 若い世代、学生に向けた利用を働きかけたい。

### 【質疑応答】

#### 3. (2) 事業実施概要

- (委 員) ワールドカフェに社会人として私も参加者したが、学生の参加は1大学のみだった。当日はイベント・学祭と重なったためと聞いている。日程調整してほしい。社会人が固定化していないか。フリーランス等幅を広げては。ハラスメント講座はいい講座だったが、サブタイトルの工夫を。男性向け講座がない。
- (事務局) ワールドカフェは時期や社会人の選定の工夫をしていきたい。講座のサブタイトルにも工夫をこらしていく必要がある。男性向け講座は今後予定している。
- (委 員) ワールドカフェは参加した社会人に感想を聞く機会があり、学生にも社会人にも効果のあ

るよい企画だと思う。起業応援は商工会議所創業塾と重複している。講座受講だけでは起業は難しくそのあとのフォローが必要だ。何かあれば商工会議所を紹介してもらえば。

- (委員) 政策参画講座(第2・3回)は、講座の意図がずれていると私は思う。女性のための政策がどのように打ち出されているかをいうことを知りたかったが、政策全般の話だった。講師の依頼の仕方に問題があるのでは。起業応援セミナーはフォローアップ(他自治体視察、起業者の発表の場等)をしてほしい。就労継続、再就職など女性労働者の育成に力を入れてほしい。女性と防災の計画はあるか。
- (委員) 政策参画講座は、市政を知る、だけでなく、「市の施策のなかでどのような男女平等の視点があるのか」、「女性の参画を促す」ということが大事である。調査研究事業の状況は。
- (事務局) 政策参画講座については講師に主旨を伝え満足度の高い講座としたい。起業のフォローアップで発表会やマルシェなどは現在していない。防災と女性をテーマとしたまちづくり参画講座で実施し、3、4回目は大雨で中止となった。調査研究事業は現在調整中であり、DVカードの情報が古くなっており内容の見直し等を考えている。
- (委員) 政策参画講座は女性も政治に加わっていくよう今後も継続を。出前講座の高校生はどのような内容か。
- (事務局) 学生がグループ活動でLGBTについて学びたいとのことで、出前講座として実施。
- (委員) 高校生への啓発は重要であり、積極的な働きかけをしてほしい。特に市立高校には声掛けしやすいのではないか。
- (事務局) 年度途中での授業数の確保は難しいとの話もあるので、時期を見て話に行きたい。
- (委員) 出前講座は職員対応だと思うが、センター職員でなくても男女平等の活動をしている人などを活用してほしい。
- (委員) 地域振興課など四町や関係部署主体でできないか。
- (事務局) 市職員が行くことが職員の資質向上につながる部分もある。サポーターもいる。各部署と連携していきたい。
- (委員) 外部講師に対する予算計上はされているのか。
- (事務局) サポーターへの謝金があるが、出前講座での外部講師謝金はない。
- (委員) 広報周知の際「男女共同参画」を前面に出すと難しいので、サブタイトルで工夫を。中学生の人権作文では今まではいじめや戦争が多かったが、今年はLGBTが多かった。啓発の機会があれば正しい知識を学ぶことができる。

【質疑終了】